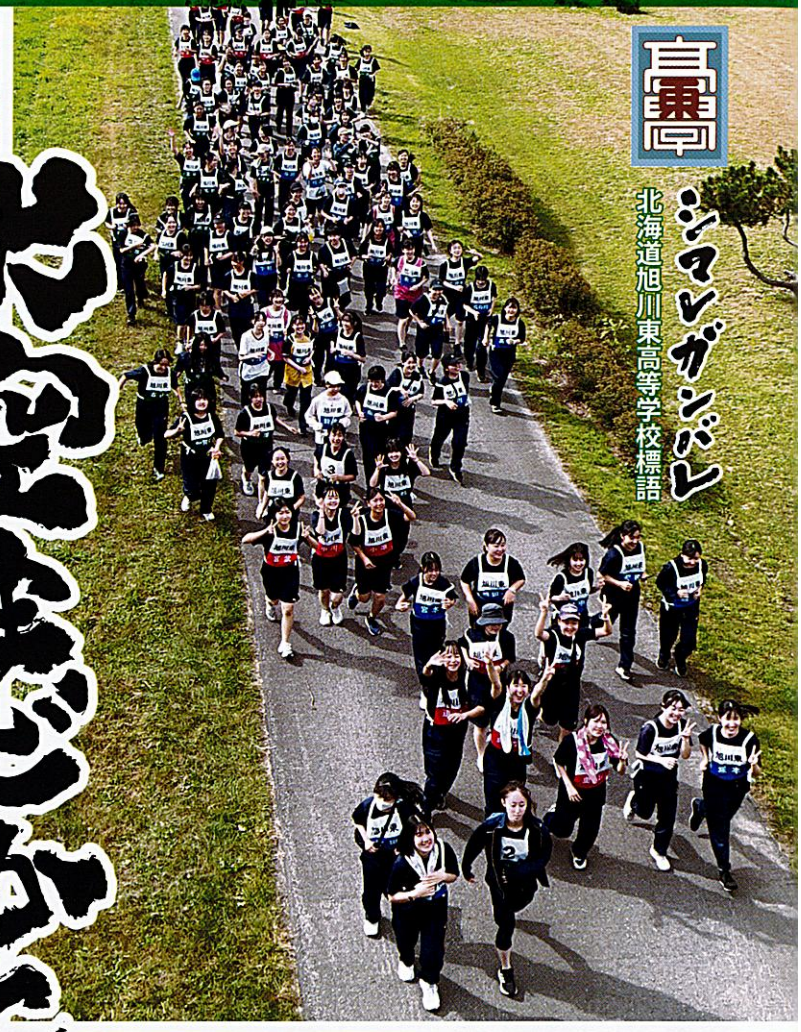




シタレガニビル
北海道旭川東高等学校標語

お空を志すな



発行日：令和7年3月1日
発行：北海道旭川東高等学校 PTA
編集：PTA 広報委員会

「令和6年度を振り返って」



PTA会長
小滝 英樹

会員の皆様には、この一年間 旭川東高等学校のPTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年度に引き続き今年度も、学校祭・急歩大会・見学旅行など学校行事が無事開催され、活気に満ち溢れた一年となり親としてとても嬉しく思っています。また、部活動に至っては、山岳部のインターハイ男子優勝・女子準優勝、放送局のNHK杯ラジオドキュメント部門準優勝、音楽部の東京国際合唱コンクール学校合唱部門2位で金賞、他の部活では上位入賞が多数あり、部活動以外にも個人で参加された大会での上位入賞など書き切れないほど本校生徒の素晴らしい活躍が私達保護者にも幸せをもたらしてくれました。

本年度を振り返り、印象に残った話題とえば、本校卒業生でパリ五輪の陸上女子やり投げ北口榛花選手の金メダル獲得と、北口選手を祝う凱旋パレードです。テレビを付けると連日生徒のインタビューが映るというサプライズもあり、本校で行われた金メダル報告会では北口先輩のパワーを存分に頂いた事でしよう。

PTA活動としましては、各委員長が活動報告されている様に、5月に行われた役員会で話し合われた事業を滞りなく肅々と進めて頂いた委員会の皆様、大懇親会のネーミングを新たに「東高チャリティーサマーフェス」を運営して頂いた実行委員会の皆様、そして夜遅くまでサポートして頂いた先生方には大変感謝をしています、誠にありがとうございました。

本校以外に目を向けると、年始めに発生した能登半島地震、国内外で行われた大きな選挙による状況の変化、一向に良くならない国際情勢がもたらす物価高など激動の一年でしたが、その様な話題も吹き飛ばす東高の一年は明るく楽しいものとなりました。

3 学年

活動報告



3 学年委員長

杉山 利勝

大きな成長を遂げた子供たちが、ついに卒業の時を迎えました。一人一人が、「新たな目標」に向かって、希望を抱き、巣立っていくのでしょうか。さらなる成長、飛躍を期待しています。

当委員会は、「ともに歩もう 旭東生活」を目標に活動してまいりました。この3年間は、コロナ禍で希薄化、簡素化してしまった人と人との関わりを、今の時代に合わせた形で取り戻すための試行錯誤の期間でした。初年度は、飲食を伴わない懇談会を2回実施し、多くの参加をいただきましたが、翌年に実施した先生及び保護者による飲食を伴う会合は、たいへん有意義な時間ではありましたが、参加人数は想定よりも少なく、時代のニーズをとらえることの難しさを感じました。

今年度は、受験を経験された上級生の保護者9名をアドバイザーに迎え、情報交換会を開催しました。参加者約70名を道内外、文系理系、男女別等にグループ分けし、少人数で体験談を中心に非常に有意義なお話を伺うことができました。

3年間、一緒に活動を支えていただいた学年委員の皆様、おかげさまで楽しく、充実した活動ができました。学校の先生方にも多大なご協力をいただきました。皆様に心より感謝申し上げます。

2 学年

活動報告



2 学年委員長

南澤 かおり

昨年度に続き『fellowship 旭東』を目標に活動してまいりました。

学校祭山車パレード後にアイスの差し入れで大変好評をいただき、7月の懇親会では先生お絵描きですよゲームで終始和やかな雰囲気の中、先生方の素顔を知り、お互いの距離を縮めることができました。

来年度はいよいよ受験の年、『受験は団体戦』とも言われるように、更なるfellowship（仲間・親交・そして連帯感）を強め、先生・生徒・保護者が一丸となり、笑顔で春を迎えられるよう悔いのない活動をしたいと思えます。

最後に2学年の先生方、保護者の皆様、何かと未熟な委員の活動を温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。次年度も引き続き宜しくお願いいたします！



1 学年

活動報告



1 学年委員長

児玉 啓秀

今年度の1学年委員会は、「共に拓こう旭東life」を目標として、子どもたちに、新しい学校生活、新しい人間関係を開拓し、充実した高校生活を過ごしてもらえよう願い、1年間活動してまいりました。

今年度の活動内容といたしまして、学校祭の仮装パレード後に、飲み物の差し入れをいたしました。炎天下の中、吹奏楽局を先頭に、テーマに合わせた衣装を身にまとい、元気に楽しそうに街中を練り歩いていました。また、力を合わせて一生懸命作製した山車はいずれも甲乙つけがたいものでした。

9月20日には、トーヨーホテルで保護者と先生達との懇親会を開催しました。先生6人、保護者40人が出席され、食事や飲み物を楽しみながら親睦を深めました。保護者同士や先生達と日頃の様子などを共有できたことで、悩みや不安の解消につながったのではないのでしょうか。会場では、田中先生に作製していただきました、入学からの学校生活の様子をスライドショーで流し、大盛況の中終えることができました。

さて、4月からは2学年となります。見学旅行などの楽しい行事もあり、また新たな一面を開拓し、有意義な学校生活が送れるよう、引き続き支援していけたらと思います。

最後になりますが、1学年の教職員の皆様、委員の皆様、今年度の活動を一緒に支えていただきありがとうございました。

教養委員会 活動報告



教養委員長

竹田 由香

この数年、感染症対策で教養委員会の活動は制約や規制が多く実施することができませんでした。感染症も落ち着きつつある今年度は、多くのPTA会員のみなさんに集まっていただけ楽しい教養講座を目指し、「みんな集まれ！楽しい教養講座」を目標に3回の講座を開催しました。

第1回講座として昨年度大変好評だった「受験飯」講座をさらにアップグレードして、株式会社明治の管理栄養士 垂石茉歩様を講師にお迎えして開催しました。受験期の子供をサポートする保護者として間食や栄養補給の方法を具体的なレシピや献立の提案など、興味深い内容でした。

第2回講座は「FPによる教育資金とライフプランのおはなし」として日本FP協会道北支部 渡邊ゆか様（東高29期生）を講師にお迎えして開催しました。まもなく迎える大学進学のための詳細と大切に育てた子供が巣立った後のセカンドライフを安心して暮らすための準備と資産形成についてお話をいただきました。

第3回講座は「ブルーチーズドリーマー 世界一の村をつくる。」として、トヨーホテルを会場としてブルーチーズドリーマー伊勢昇平様（東高54期生）を講師にお迎えして開催しました。世界一のチーズをつくること、江丹別を世界一の村にすることが夢と熱く語って頂きました。

今年度、3回の講演会に延べ約150名のPTA会員の皆様にご参加を頂きました。講座終了後の参加者アンケートではどの講座も大変満足頂けていました。

教養委員一同、講師との出会いや、新たな学びにわくわくしながら講座の準備をいたしました。教養講座が、参加いただいたみなさんの「お子さんと過ごす時間をより輝かせるためのヒント」になれば大変うれしく思います。



生活委員会 活動報告



生活委員長

鏡 恵子

令和6年度の生活委員会の目標は、「学年の壁を越えPTA活動を楽しみましょう！」をテーマに活動を進めてきました。5月16日に1回目の委員会を開催し、学校祭までに4回もの委員会を重ね、学校祭バザーの準備を進めてきました。時間のなかで、委員さん達の尽力のおかげでバザーに臨むことができました。

バザーでは東高名物の「東（とん）どら」を始め、5種類のお菓子などを販売しました。天候が思わしくなく、完売できるか不安に思っていました。委員さん達の知恵のある販売方法で全て完売しました。売上金は教室で使用できる扇風機とLEDライトに充てられます。学校祭のもう一つの活動は、仮装行列の審査員と交通整理を行いました。生徒達が一生懸命作成した山車や仮装に点数を付けるのはとても心苦しいものでしたが、とても楽しい一時でした。

急歩大会では、10月とは思えないほどの晴天に恵まれ、生徒達への給水と誘導をお手伝いしました。

最後になりますが、生活委員会ではバザーをメインとして活動していますが、委員会を発足してからバザーまでの期間が短く、委員さん達と先生方の負担が重くなってしまうことが、このような状況の中でも皆様のご協力を頂き活動することが出来ました。携わって頂いた皆様に感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。





PTA教養講座

ブルーチーズドリーマー 世界一の村を作る

開催日 2024年11月30日(土)

会場 トーヨーホテル

講師 伊勢 昇平 様(東高54期生)



終始興味深いお話で、皆さん話に没頭です。

江丹別には
夢も希望もない

酪農家の家庭で育った当時
東高生の伊勢氏。生まれ育っ
た江丹別は、人口は数百人、
下水すら整っていない、周り
には何も無い。「江丹別には
夢も希望もない。オレは世界
を目指す！」と心に誓う。
「そのためには英語が必要
だ」と飛び込んだ英語教室の
先生に言われた一言。それ
が、伊勢氏がチーズを作るう
と思っただけのきっかけとなる。
「父親が絞った牛乳で世界一
のチーズを作ればいじゃない
か。」

たった一言で
変わった人生



お一人お一人に
名刺をくださいました

失敗続きのチーズ作り。そ
こでフランスへ修行に行くこ
とを決める。CAから「ご旅
行ですか？」と質問され「世
界一のチーズを作るために修
行に行きます！」と返す。そ
の言葉を聞いたCAが降機の
際「お客さまの作るチーズが
世界の人に笑顔をもたらしま
すように」というメッセージ
が書かれたビニール飛行機を
手渡す。帰国し数年後、よう
やく納得できるチーズが作れ
るようになり、それをSNS
にあげたところ大バズリ！
それがきっかけで、あの時
乗ったANAの機内食唯一の
国産チーズに選ばれることと
なった。夢を発信していなけ
れば叶わなかった採用。
「たった一言で人生は変わ
る。夢はどんどん発信した方
がいい。」という伊勢氏の言
葉には大きな説得力があっ
た。

江丹別を
世界一の村に



試食の他にも土産ま
で。「参加して良かつ
た！」と心から思っ
る講演でした



講演の後には
美味しいお食事でご歓談

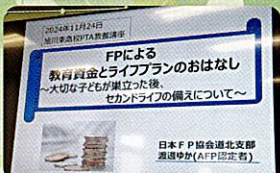
これが伊勢氏の現在の夢。
チーズの生産量を増やすこと
で雇用を増やし、住居や学校
の環境を整えることで移住者
を増やすなど、やりたいこ
とは尽きない。「江丹別には
夢も希望もない」から「江丹
別には夢や希望がいっぱい」
へと変わったのだ。「夢も希
望もなかったのはかつての自
分だった。今は、欠点だと思
っていた『何も無い』江丹
別だからこそ少しの変化も実
感できる。何もなくてよかつ
た。」そう語る伊勢氏の、夢
や希望に溢れたキラキラした
目が印象的だった。

PTA教養講座

FPによる教育資金とライフプランのおはなし

開催日 2024年11月24日(日)

講師 日本FP協会道北支部
渡邊 ゆか 様(東高29期生)



この日は50名程が参加
し、渡邊講師からはライ
フプランニングについて
幅広い内容で、時間いっ
ぱい有意義なお話をして
頂きました。
特に参考になったの
は、一瞬気を失いかける
額の大学進学費用や、老
後の資産形成など、講師
ご自身の実体験も踏まえ
たお話でした。
渡邊講師、教養委員会
の皆様、担当の先生方、
貴重な機会をありがとう
ございました。



定時制からの風

後期の定時制の風景です

宿泊研修

10月17日(木)～18日(金)

2学年の宿泊研修をネイパル深川で実施しました。コミュニケーショントレーニング、エコマイ箸作り、スポーツレク、天体観測等の活動を通して、仲間とつながる大切さを体験できました。また、北海道地図株式会社では、地図製作の工程見学の他にも、3Dコンテンツやモーションキャプチャーを体験し、生徒たちは喜んで体験学習をしました。



見学旅行

12月5日(木)～6日(金)

3学年で関東エリアに旅行をしました。最新の技術や伝統文化に触れ、地元ではできない体験をすることができました。また、集団で生活や移動をする中で、ルールを守ることの意義に気づき、仲間同士での助け合いもできました。良い経験と学びができました。



レクリエーション大会

12月19日(木)

今年は学校祭に続き、レクリエーション大会でも新しい試みを生徒会執行部が企画しました。ボードゲームを体育館用にアレンジし、クラスやグループで取り組みました。生徒たちが力を合わせ、仲間とつながり、楽しんでいました。メンバー構成を学年混合にし、グループ活動をしたことで学年間の交流も図られました。





第73回 全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会 歴史の町で変革を 新たな時代が目に入らぬか

「たからもの」 副会長 齋藤 真人

一番感銘を受けたのは、昨年6月に退任された全国PTA連合会前会長、山田博章さんのごあいさつです。「皆さん、私の愚痴を聞いてください。初めてPTA会長になった時のこと、校長先生と教頭先生が自宅まで来て、次年度、会長になってほしいと3時間も玄関先で説得され、いざ会長になったら、校長先生は転動していなかったんですよ！」会場からどっと笑いが起きます。その後、話しは続き「最後になりますが、PTAのあいさつはいつも愚痴から始まるのに、なぜか感謝で終わってしまうんです。PTA活動を通じてできたたくさんさんの仲間、私にとって一生の宝物です。その宝物を与えてくれた3人のこどもに感謝！」涙ぐみ言葉を詰まらせた時、会場に割れんばかりの拍手が沸き上がり鳴り止みませんでした。アダストリアみとアリーナ6000人がひとつになった瞬間でした。



編集 後記



広報委員長 対馬 眞由美

「長い文章なんて誰も読まないよね。」

今年度の広報委員の会議で私が言った言葉です。

共働き家庭が増え、情報の多くをスマホで手軽に得られるようになった現代。特に、高校生という多感な時期のお子様を持つご家庭では、忙しい日々の中で、腰を据えてじっくりとPTA広報紙を読む時間を確保するのは難しいのではないのでしょうか。

そこで、今年度は「見るだけで楽しめる広報紙」を目指し、広報委員全員が一丸となって発行に向けて駆け抜けました。

その中で、PTA役員の皆様の熱い思いと頑張り、生徒たちの笑顔と汗をたくさん写真に残すことができました。

限られた紙面ではありますが、読者の皆様にその一端でも感じていただければ幸いです。

PTA広報紙の制作につきまして、先生方やPTA会長をはじめ、各役員・会員の皆様その他多くの方々にご協力を賜りました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

令和6年度 広報委員会

広報委員

委員長 対馬眞由美(2・2)

副委員長 高橋 佳奈(3・2)

委員 大川麻抄子(2・6)

古川 朝子(1・4)

高橋みゆき(3・3)

齋藤 友紀(3・4)

高村 啓実(2・4)

南 直人(2・4)

近藤 佳子(1・6)

副会長 齋藤 真人(2・2)

杉本 寛子(1・6)

広報委員会初の試み!

広報紙の中に掲載しきれなかったそのほかの写真は、Classiにて期間限定で配信いたします!ほっと一息、コーヒーでも飲みながらぜひお楽しみください。

配信期間 令和7年3月1日～3月31日